

別紙

●用語解説

◆重要無形文化財保持者

- ・無形の「わざ」を重要無形文化財に指定
- ・その「わざ」を高度に体得している個人または団体を保持者・保持団体として認定

て認定

- ① 重要無形文化財：人の「わざ」（形がないもの）のなかでも、日本の歴史や文化において価値が高いもの
- ② 保持者：その「わざ」を高度に体得している個人または団体を保持者・保持団体として認定

- ・「保持者」の認定には、次の3方式がある。

- ① 各個認定＝人間国宝
- ② 総合認定＝重要無形文化財に指定された技を、団体が一体となって守り伝え、表現している
- ③ 保持団体認定＝輪島塗技術保存会、本場結城紬保存会など。

◆総合認定能楽師

重要無形文化財に「総合認定」された団体の「構成員」（たる能力があると認められた人）

◆職分能楽師

能楽において職業的な能楽師を指す。

能楽における職業的な能楽師の身分の一種も指す。通常、宗家、職分、準職分がある。

「宝生流能楽師」は、全国で83名